

魚津市新庁舎整備にむけた市民ワークショップ

テーマ

「未来を描く」

庁舎と公園が一体となった新しい UOZU の居場所。

報告書

令和8年5月

魚津市



目次

1. 市民ワークショップの概要

- (1) 目的
- (2) テーマ
- (3) 実施概要

2. 実施結果

- (1) ワークショップのようす
- (2) グループワークの主な意見
- (3) 意見の傾向
- (4) 各グループの成果
- (5) まとめ

3. 参考資料

- (1) グループワークの意見一覧
- (2) ワークショップ当日資料

1. 市民ワークショップの概要

(1) 目的

魚津市では、新庁舎整備の基本計画に基づき、市民が利用しやすく、親しみを感じられる新庁舎の実現に向けて、基本設計を進めています。

今回開催の市民ワークショップは、これまで行われた高校生ワークショップや他の市民ワークショップで寄せられた意見を踏まえ、新庁舎、市役所前公園、展望デッキがどのように活用されるかについて、市民の皆さんと具体的に考えることを目的としています。

本ワークショップでは、単に必要な施設や機能を検討するだけでなく、「誰が、いつ、どのように使うのか」「その使われ方が将来の魚津にどのようにつながっていくのか」を想像しながら、その意見を基本設計に活かすために伺いました。

(2) テーマ

未来を描く 市民ワークショップ

～ 魚津 [2030→2050] ワーク ～

新庁舎と市役所前公園、そして展望デッキを一体的に捉え、市民エリアや公園の利用方法が、将来の魚津のまちにどのように広がっていくかを考えるために、上記のテーマを設定しました。

(3) 実施概要

日時	令和8年4月25日(土) 13:00～17:00
場所	魚津市役所
対象者	魚津市在住の方等
参加人数	18名(4グループ)
募集方法	公募による
実施方法	①開会 ②新庁舎整備の概要・ワークショップの趣旨説明 ③これまでのワークショップの振り返り ④プロポーザル案・先進事例紹介 ⑤ウォームアップ ⑥平面マップワーク ⑦未来連鎖マップワーク ⑧発表・講評 ⑨閉会



2. 実施結果

(1) ワークショップのようす

新庁舎整備の概要説明・これまでの振り返り

はじめに、現在進めている新庁舎整備の検討状況や、今回のワークショップの位置づけについて説明いたしました。あわせて、これまで実施された高校生ワークショップや市民ワークショップから寄せられた主な意見を振り返りました。今回のワークショップでは、既に出された意見を単に繰り返すだけでなく、具体的な「使われ方」や「将来への広がり」を考えることを共有しました。



プロポーザル案・先進事例紹介

次に、設計者からプロポーザル案の考え方を紹介されました。特に、市民エリア、市役所前公園、展望デッキとの関係性や屋内外が連続する利用方法について詳しく説明されました。また、他自治体の公共施設や庁舎の事例も紹介され、それらをグループワークの参考として活用していただきました。



グループワーク

グループワークでは、ウォームアップを行った後、平面マップワークと未来連鎖マップワークに取り組みました。平面マップワークでは、市民エリアや市役所前公園について、誰が、いつ、どこで、何をしているかを考えながら、人々の動きや場所のつながりを矢印や線で表現しました。

次に行った未来連鎖マップワークでは、平面マップワークで示された利用方法が、5年後、10年後、20年後にどのように発展していくかを考えました。市民エリア、公園、そして魚津の街という異なるスケールごとに、将来の変化や波及効果を整理し、それぞれの視点から考察しました。



発表・講評

各グループが話し合った内容について、代表者から発表がありました。発表では、イベント利用や子どもの遊び場、チャレンジショップ、学習スペース、公園の日常利用、さらには展望デッキの活用など、多様な意見が共有され、それぞれの各グループならではの特徴的な視点が明確になりました。

(2) グループワークの主な意見

今回のワークショップでは、市民エリア、市役所前公園、そして展望デッキに関して、具体的な利用方法について多くの意見がありました。以下に、複数回にわたって出された主な意見を整理します。

(1) イベント・祭り・市民活動に使いたい

回数：12回程度

- 地域の祭りや練習の場として使いたいという意見がありました。
- 映画祭、音楽祭、マルシェ、ビアフェスなど、多様なイベント利用が想定されました。
- 将来的には、市民が主催者側に回ることも期待されました。

(2) 子どもの遊び場・キッズスペースがほしい

回数：9回程度

- 子育て支援機能と屋外空間をつなげたいという意見がありました。
- 遊具、水遊び、泥遊び、雪遊びなど多様な遊び方が求められました。
- 子どもの利用を通じて、子育て世代や多世代交流への広がりが期待されました。

(3) カフェ・飲食機能がほしい

回数：8回程度

- 庁舎内カフェと公園を連続して使いたいという意見がありました。

- 弁当販売、キッチンカー、レストランなどの飲食機能が求められました。
- 職員や来庁者のランチ・休憩利用も想定されました。

(4) チャレンジショップ・チャレンジカフェ・出店機会

回数：7 回程度

- 市民や地元事業者が試しに出店できる場が求められました。
- 土日・夜間など、柔軟に使える出店空間への期待がありました。
- 将来的には、出店機会や関係人口の増加につながることを期待されました。

(5) 学習スペース・自習スペースがほしい

回数：6 回程度

- 電車待ちや会議前に使える学習・滞在スペースが求められました。
- Wi-Fi、コンセント、夜間利用、個室性などが重視されました。
- 学生が日常的に利用する場になることが期待されました。

(6) Wi-Fi・コンセント・外部電源がほしい

回数：6 回程度

- 学習や滞在利用のため、Wi-Fi やコンセントが求められました。
- 屋外イベントやキッチンカーに対応する外部電源が必要とされました。
- 誰でも使いやすいフリーWi-Fi・コンセントへの意見がありました。

(7) トイレを使いやすくしたい

回数：6 回程度

- 庁舎内トイレを屋外からも使えるようにしたいという意見がありました。
- 子ども用トイレ、親子トイレ、オムツ対応設備が求められました。
- 公園内トイレを明るくきれいにする必要性が指摘されました。

(8) 暑さ対策・日よけ・雨天対応が必要

回数：6 回程度

- 日よけ、タープ、ミストなど夏場の暑さ対策が求められました。
- 雨でも使える軒下空間や濡れずに移動できる動線が求められました。
- 水遊びや夜間利用など、気候に応じた使い方も提案されました。

(9) 公園を日常的に使いたい

回数：6 回程度

- 青空図書館、ヨガ、犬の散歩など日常利用の意見がありました。
- ランチ、散歩、ジョギングなどの利用も想定されました。
- 将来的には、公園利用者が庁舎利用者より多くなる可能性も語られました。

(10) 健康・運動に使いたい

回数：6 回程度

- ヨガ、体操、散歩、ジョギングなどの利用が想定されました。
- 高齢者や大人も使える運動器具への意見がありました。
- 健康寿命の延伸につながることを期待されました。

(11) 半屋外・屋内外がつながる空間がほしい

回数：5 回程度

- 市民エリアや子育て支援機能を屋外とつなげたいという意見がありました。
- 軒下や半屋外空間を日常利用やイベントに活用したいという意見がありました。
- 机や椅子を屋外へ出すなど、柔軟な使い方が提案されました。

(12) コミュニティガーデン・花壇・市民管理

回数：5 回程度

- コミュニティガーデンや花壇を市民交流につなげたいという意見がありました。
- 成果物の販売や地域ポイントなどの仕組みも提案されました。
- 堆肥化や雨水利用など、環境循環に関する意見もありました。

(13) 魚津らしい植栽・自然を活かしたい

回数：5 回程度

- 林檎、葡萄、梨、桃など魚津らしい木を植えたいという意見がありました。
- 季節を感じる植物や藤棚への期待がありました。
- どんぐりの木など既存の自然を残したいという意見もありました。

(14) 展望デッキ・屋上・眺望を活用したい

回数：4～5 回程度

- 海と山が見える魚津らしい眺望を活かしたいという意見がありました。
- 展望テラスや屋上緑化など、市民利用への期待がありました。
- 用事がなくても庁舎を訪れるきっかけになることが期待されました。

(15) 多世代交流につなげたい

回数：4～5 回程度

- 子どもと高齢者が交流できる場が求められました。
- 祭りやイベントを通じた多世代交流が期待されました。
- 学生、子育て世代、高齢者が集う場になることが想定されました。

(16) 用事がなくても訪れたい場所にしたい

回数：4 回程度

- 学生や市民が気軽に出入りできる庁舎が期待されました。
- 市民と職員の交流が生まれることが期待されました。
- 行政手続きがなくても立ち寄れる居場所が求められました。

(17) 市民が参加者から主催者・運営側になる

回数：4～5 回程度

- 市民や子どもがイベントを企画する展開が期待されました。
- 継続的なイベントにより、主催者が増えることが想定されました。
- 市民のアイデアを実現する仕組みが求められました。

(18) まちの魅力・シビックプライド・関係人口につなげたい

回数：6 回程度

- 新庁舎や公園が魚津の魅力向上につながることを期待されました。
- 視察、観光、地域間交流の増加が望まれました。
- 関係人口や出店の増加も想定されました。

(19) 子育てしやすいまち・移住につなげたい

回数：3 回程度

- 子育て世代が利用しやすい場づくりが求められました。
- 子育てしやすさが移住につながることを期待されました。
- 若者が市外へ出てもつながり続ける仕組みが必要とされました。

(20) 国際交流・異文化共生につなげたい

回数：3 回程度

- 異文化体験イベントによる交流が期待されました。
- 技能実習生の定住や異文化共生都市への展開が想定されました。
- 外部人材とつながるネットワークの必要性が示されました。

(21) 運営・管理・整備への慎重意見

回数：3 回程度

- 年数回のイベントのための過度な整備には慎重な意見がありました。
- 多目的エリアは具体的な使い方を示す必要があるとされました。
- 遊具や公園利用では安全性を重視すべきという意見がありました。

(3) 意見の傾向

複数回にわたって出ている意見を見ると、イベント・祭り・市民活動への期待が最も多く、地域活動や市民主体の利用を受け止める場としての役割が求められました。

また、子どもの遊び場、カフェ・飲食、チャレンジショップ、学習スペース、公園の日常利用など、日常的に使える場所としての期待も多く見られました。展望デッキについては、魚津らしい眺望を活かし、庁舎を訪れるきっかけとなる場所として期待されています。

一方で、こうした使い方を成立させるためには、トイレ、電源、暑さ対策、雨天対応、半屋外空間などの基本的な条件整備が重要であることも示されました。

複数回出ている意見の整理

意見のまとめ	回数
イベント・祭り・市民活動に使いたい	12 回程度
子どもの遊び場・キッズスペースがほしい	9 回程度
カフェ・飲食機能がほしい	8 回程度
チャレンジショップ・チャレンジカフェ・出店機会	7 回程度
学習スペース・自習スペースがほしい	6 回程度
Wi-Fi・コンセント・外部電源がほしい	6 回程度
トイレを使いやすくしたい	6 回程度
暑さ対策・日よけ・雨天対応が必要	6 回程度
公園を日常的に使いたい	6 回程度
健康・運動に使いたい	6 回程度
半屋外・屋内外がつながる空間がほしい	5 回程度
コミュニティガーデン・花壇・市民管理	5 回程度
魚津らしい植栽・自然を活かしたい	5 回程度
展望デッキ・屋上・眺望を活用したい	4～5 回程度
多世代交流につなげたい	4～5 回程度
用事がなくても訪れたい場所にしたい	4 回程度
市民が参加者から主催者・運営側になる	4～5 回程度
まちの魅力・シビックプライド・関係人口につなげたい	6 回程度
子育てしやすいまち・移住につなげたい	3 回程度
国際交流・異文化共生につなげたい	3 回程度
運営・管理・整備への慎重意見	3 回程度

(4) 各グループの成果

A グループ



B グループ



C グループ



D グループ



(5) まとめ

今回のワークショップでは、新庁舎、市役所前公園、展望デッキを一体的に捉え、日常的に過ごす場や活動を始める場、さらには魚津らしさを感じる場としての期待が多くありました。

特に、イベント利用や市民活動への期待は非常に大きく、さらに学習や飲食、子どもの遊び、健康づくり、コミュニティガーデンなど、普段使いの場としての意見も数多く見受けられました。

3. 参考資料

(1) グループワークの意見一覧

A グループ

市民スペース関連 | 学習

- 電車の待ち時間や会議前に利用できる自習室を設けてほしい。
- 夜遅くまで利用できるといい。
- コンセントがほしい。

市民スペース関連 | 子育て支援センター

- 屋外と連続した空間にして、子どもが外遊びしやすい空間にしたい。
- お年寄りと子どもが交流できる場としてほしい。

市民スペース関連 | トイレ・多目的スペース

- トイレを屋外からも利用できるようにしてほしい。
- よっしゃ来い CHOUROKU まつり等の練習に使いたい。

市役所前公園関連 | 公園利用

- 青空図書館を実施したい。
- 雨でも公園を利用できるように軒下空間を設けてほしい。
- 公園を屋外ヨガなど日常利用できるようにする。
- 犬の散歩に利用したい。
- マナー教室を行い、マナーを守ってそれぞれが楽しめるようにしたい。
- コミュニティガーデン（農園、花壇）を設け、市民交流しつつ、成果物をマルシェイベントで販売する。
- 市民が管理し、携わった市民には地域独自のポイントを付与し、庁舎内カフェで利用できるようにする。
- 落ち葉や生ごみを堆肥として利用する。
- 雨水タンクで貯水し、水やりに活用する。

市役所前公園関連 | カフェ・キッズゾーン

- 庁舎内カフェでテイクアウトしたものを外で食べられるようにしたい。
- 市職員も外でランチしたい。
- 日替わり弁当販売コーナーを設ける。
- 年齢別の遊具を設置してほしい。
- 子どもが自由な発想で遊べるようにしたい。
- 雪遊びなど季節ごとの遊びができるといい。
- 芝生以外にも、土や泥、水遊びできる場がほしい。
- どんぐりの木は残してほしい。

将来の展望

- 毎月イベントを開催する。学生が気軽に市庁舎に出入りする。市民と市職員との交流が生まれる。用事がなくても訪れたい場所となる。
- 技術進歩で職員数が減少し、空いたスペースにチャレンジカフェが生まれる。

- 学習スペースで勉強した学生が県外の大学へ入学し、卒業とともに魚津へ帰ってくる。
- コミュニティガーデンが公園に彩りをもたらし、平日ランチ時の利用が増加することで好循環が生まれる。
- 子どもが企画したイベントが開催され、子どもの学びの場となり、授業のカリキュラムになる。
- シニアがいきいきと過ごし、多世代交流の場となる。
- 他市町村からの視察が増え、地域間交流や観光が増える。
- 子育てしやすい街となり、移住者が増える。
- 人口は多くなくても、活気のある街になる。

B グループ

市民スペース関連

- 市民用の打合せスペースを設ける。
- 土日や夜間にも利用できるチャレンジキッチンを設ける。
- 地元の人が利用できるチャレンジカフェを設ける。
- 学習スペースにはコンセントや Wi-Fi もほしい。
- 委員会室で学習できてもいいかもしれない。

市役所前公園関連

- 林檎や葡萄、梨、桃などの魚津らしい木を植える。
- 藤棚を復活させる。
- 季節が感じられる植物を植える。
- 半屋外空間を利用したイベントを開催する。
- 屋外映画鑑賞会を開催したい。
- 外部コンセントが必要。
- よっしゃ来い CHOUROKU まつり等地域イベントの練習に使用する。

その他

- 平日でもキッチンカーを呼ぶ。
- 駐車場に花火大会の観覧席を設ける。
- 駐輪場を市民利用できるようにする。
- 屋上を緑化する。
- 海と山が見える場所をつくる。

将来の展望

- チャレンジショップ（カフェ、ランチ、夜間はアルコールの提供店やスナック）として柔軟に対応する。
- 柔軟に対応するため、可動間仕切り壁を使う。
- 将来的には庁舎の利用者より公園利用者が多くなる。
- 子どもがのびのび遊べる場になる。
- 定期的にイベント（映画祭、音楽祭など）を開催することで、イベントを開催する人が増える。
- 魅力、シビックプライドがアップする。
- 関係人口が増加し、出店も増える。
- 公園前を歩行者天国にする。

C グループ

市民スペース関連

- 夏休みに子どもへ開放する。
- 図書館と連携する。
- フリーWi-Fiを設置する。
- 個室とするか、衝立で囲ってほしい。
- 子ども用トイレ、オムツ自販機や専用ゴミ箱を設ける。
- 簡易的なものでいいので、屋外に机や椅子を持ち出しテラス席を設ける。
- 片づけは各自で行う。
- 屋外に大型モニターやテレビを設置する。

市役所前公園関連

- 屋外で飲食する場合でも日よけはほしい。
- 公園、駐車場で周回できる散歩、ジョギングコースを整備する。
- よっしゃ来い祭りに利用する。
- マルシェを開催したい。
- 市民参加の音楽フェスやライブコンサートを開く。
- 夏の夜間利用としてビアガーデンを設ける。
- 夏場はタープを設置する。
- 屋根からミストを散布する。
- 水遊びスペースがほしい。
- ふわふわドーム複合型遊具を設置する。
- 子どもの遊び道具として、ボールを貸し出す。
- 高齢者が使える運動器具を設置する。
- 休日や朝などにヨガや体操会を開く。

その他

- 濡れずに移動できる動線としてほしい。
- 展望テラスがほしい。

将来の展望

- 学生などの電車利用者が時間をつぶせるスペースを設ける。
- 学生の電車利用が増え、市内への進学者が増加する。
- 市役所に来るとクーポンがもらえ、職員も子育て支援クーポンがもらえる。
- 将来的には庁舎の半数近くが、学生や市民のスペースとなる。
- 子どもスペースを増やすことで、子どもや子育て世代の来訪者が増加する。
- 夏場の夜間利用を促進することで、酷暑対策としつつ活気ある空間とする。
- 学生主体のイベントから魚津市の新しいイベントへと昇華する。
- 健康増進エリアの充実を図りつつ、健康センターの機能を集約する。
- 異文化体験イベントを開催することで、技能実習生の長期定住化を目指す。
- 若者が市外へ移住しても、つながり続けるネットワークを整備する。

D グループ

市民スペース関連

- フリーWi-Fi、フリーコンセントを設ける。
- 学生向けの学習スペースを整備する。

- 職員や市民の別なく利用できる、コワーキング、商談、休憩スペースを設ける。
- レストランがあってもいい。
- チャレンジショップやキッチンカーの出店があるといい。

市役所前公園関連

- 夏場の日よけは必要となる。
- 魚津の人間はお酒が好きなので、ビアフェスを開催する。
- 駅前よりもこちらの方がイベントを開きやすそう。
- 年1、2回のイベントのためにインフラ整備するのはどうかと思う。
- 安全性が第一優先。
- ネット遊具を設置する。
- 大人も利用できる運動遊具がほしい。
- 親子トイレを設ける。
- 庁舎内トイレを屋外からも利用できるようにする。
- 子どもが使いやすいように、公園内のトイレをきれいに明るく再整備する。

将来の展望

- 多目的エリアでは市民利用が伸びにくいと思うので、具体的な使用例を示す。
- パブリックビューイングスペースを設ける。
- 小さな大会でも市民が集まって応援する機会を増やすことで、高齢者の居場所づくりにもつながる。
- 小さくてもいいので月ごとにイベントを実施する。
- キャンプやBBQ、スポーツ大会などを実施する。
- 将来的には毎週イベントを実施する。
- 最初は参加者だった市民も、時間を経るうちに主催者側に移行していく。
- 「市民のアイデアを実現する課」を創設する。
- 祭りを公園で開催し、祭りを通じた多世代交流の場とする。
- 20年後には、イベントやお祭りによってご近所付き合いが増えるといい。